

努力賞
(子どもの部)

「ちよっとだけ」

荒川区立尾久小学校一年

栗田 恋

わたしは、『ちよっとだけ』にでてくる、なっちゃんというおねえちゃんとわたしが、すこしだけにいるので、「このほんをえらびました。やなぎだせんせいにおねえちゃんはいますか。」

このほんにでてくるなっちゃんは、おとうとができて、おねえちゃんになりました。おねえちゃんになって、じぶんでじぶんのことをやらなくてはいけなくなったり、がまんしたりすることがふえました。

わたしのいちばんすきなところは、ママにパジャマのボタンをとめてもらおうとおもったら、ママはあかちゃんをねかせていたのでじぶんでとめてみたら、ちよっとずれているけれど、せいこうしたというところです。なぜかというと、ボタンがちよっとずれてとまっているところが、かわいいなあとおもったからです。

なっちゃんがパジャマのボタンをとめたり、かみのけをむすんだり、じぶんでじぶんのことをやるうとちようせんしているところは、えらいなあとおもいました。わたしにもおとうとができて、なっちゃんにしているところがあります。わたしは、なっちゃんよりも大きいので、じぶんのこととはなるべくじぶんでやっています。ママがおとうとのめんどろをみていて、いそがしいので、ちよっとおて

つだいをしてあげようとおもいました。

このほんをよんで、ママのことはみんな、だいすきだということがわかりました。やなぎだせんせいも、ママのことがだいすきですか。